

# 函館市医療・介護連携支援センター 実績報告

平成29年11月25日（土）  
花びしホテル

公益社団法人 函館市医師会  
函館市医療・介護連携支援センター  
医療ソーシャルワーカー 佐藤 静

# 函館市医療・介護連携支援センター

人生の最  
住み慣れ  
自分らし  
続けられ



医療相談員 柳谷 秀英



# 函館市の人口と高齢化率

人口

263,540人

高齢者数

88,456人

高齢化率

33.6%

36.7%

全国	27.3%
北海道	29.7%

# 函館市医療・介護連携推進協議会



函館市医師会  
函館歯科医師会  
函館市薬剤師会  
北海道看護協会  
道南訪問看護協会  
函館市訪問リハビリテーション協会  
函館市地域包括支援センター連絡協議会  
函館市居宅介護支援事業所連絡協議会  
道南在宅ケア研究会  
道南老人福祉施設協議会  
函館地域医療連携実務者協議会  
北海道医療ソーシャルワーカー協会  
函館市保健福祉部  
(13団体)

地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

函館市

函館市医療・介護  
連携推進協議会

函館市医療・介護  
連携支援センター

多職種連携  
研修作業部会

連携ルール  
作業部会

情報共有  
ツール作業部会

急変時対応  
分科会

退院支援  
分科会

# 在宅医療・介護連携推進事業（介護保険の地域支援事業、平成27年度～）

- 在宅医療・介護の連携推進については、これまで医政局施策の在宅医療連携拠点事業（平成23・24年度）、在宅医療推進事業（平成25年度～）により一定の成果。それを踏まえ、介護保険法の中で制度化。
- 介護保険法の地域支援事業に位置づけ、市区町村が主体となり、郡市区医師会等と連携しつつ取り組む。
- 実施可能な市区町村は平成27年4月から取組を開始し、平成30年4月には全ての市区町村で実施。
- 各市区町村は、原則として（ア）～（ク）の全ての事業項目を実施。
- 事業項目を郡市区医師会等（地域の医療機関や他の団体を含む）に委託することも可能。
- 都道府県・保健所は、市区町村と都道府県医師会等の関係団体、病院等との協議の支援や、都道府県レベルでの研修等により支援。国は、事業実施関連の資料や事例集の整備等により支援するとともに、都道府県を通じて実施状況を把握。

## ○事業項目と取組例

### （ア）地域の医療・介護の資源の把握

- ◆ 地域の医療機関の分布、医療機能を把握し、リスト・マップ化
- ◆ 必要に応じて、連携に有用な項目（在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等）を調査
- ◆ 結果を関係者間で共有



### （エ）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ◆ 情報共有シート、地域連携バス等の活用により、医療・介護関係者の情報共有を支援
- ◆ 在宅での看取り、急変時の情報共有にも活用

### （キ）地域住民への普及啓発

- ◆ 地域住民を対象にしたシンポジウム等の開催
- ◆ パンフレット、チラシ、区報、HP等を活用した、在宅医療・介護サービスに関する普及啓発
- ◆ 在宅での看取りについての講演会の開催等



### （イ）在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

- ◆ 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策を検討

### （オ）在宅医療・介護連携に関する相談支援

- ◆ 医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援。

### （ウ）切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ◆ 地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築を推進

### （カ）医療・介護関係者の研修

- ◆ 地域の医療・介護関係者がグループワーク等を通じ、多職種連携の実際を習得
- ◆ 介護職を対象とした医療関連の研修会を開催等

### （ク）在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

- ◆ 同一の二次医療圏内にある市区町村や隣接する市区町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

## センターの事業内容

- 1 地域の医療・介護の資源の把握，情報提供
- 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築
- 3 医療・介護関係者の情報共有の支援
- 4 医療・介護連携に関する相談支援
- 5 医療・介護関係者の研修
- 6 地域住民への普及啓発

# 1 地域の医療・介護の資源の把握，情報提供

## 地域の医療・介護資源の把握，在宅医療・後方支援病院のリスト・マップ（ホームページへの掲載）

在宅医療・介護連携マップ

「五楼部町44」周辺 検索結果: 30件

施設名	住所	診療科目
医療法人社団医療の専科・循環器科医療院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、循環器科
特定医療法人 聖母病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
医療法人社団ごとう内科病棟科	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科
函館中道神会病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
函館パートナークリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
医療法人社団豊村内科医療院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科
久保田内科病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
函館せいらクリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
深根病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
函館済生会病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
長谷川内科クリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科
社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
あらし看護婦科内科クリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、外科、小児科、産科、婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻科、歯科、放射線科、検査科、薬剤科、理学療法科、作業療法科、言語聴覚科、看護科、福祉科
伴富内科	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科
はらび内科消化器科クリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科、消化器科
しものみ内科クリニック	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	内科
道南赤十字看護学院	〒070-0001 北海道函館市五楼部町44-1	看護学

函館市医療・介護連携支援センター

在宅医療・介護連携マップ

マップ機能 先行公開

URL : [hakodate-ikr.jp](http://hakodate-ikr.jp)  
(スマートフォン対応)

○「在宅医療」もしくは「在宅医療の後方支援」に取り組む市内の病院、診療所、薬局、介護事業所などについてインターネット上で位置情報の確認や介護保険事業所の情報を表示。

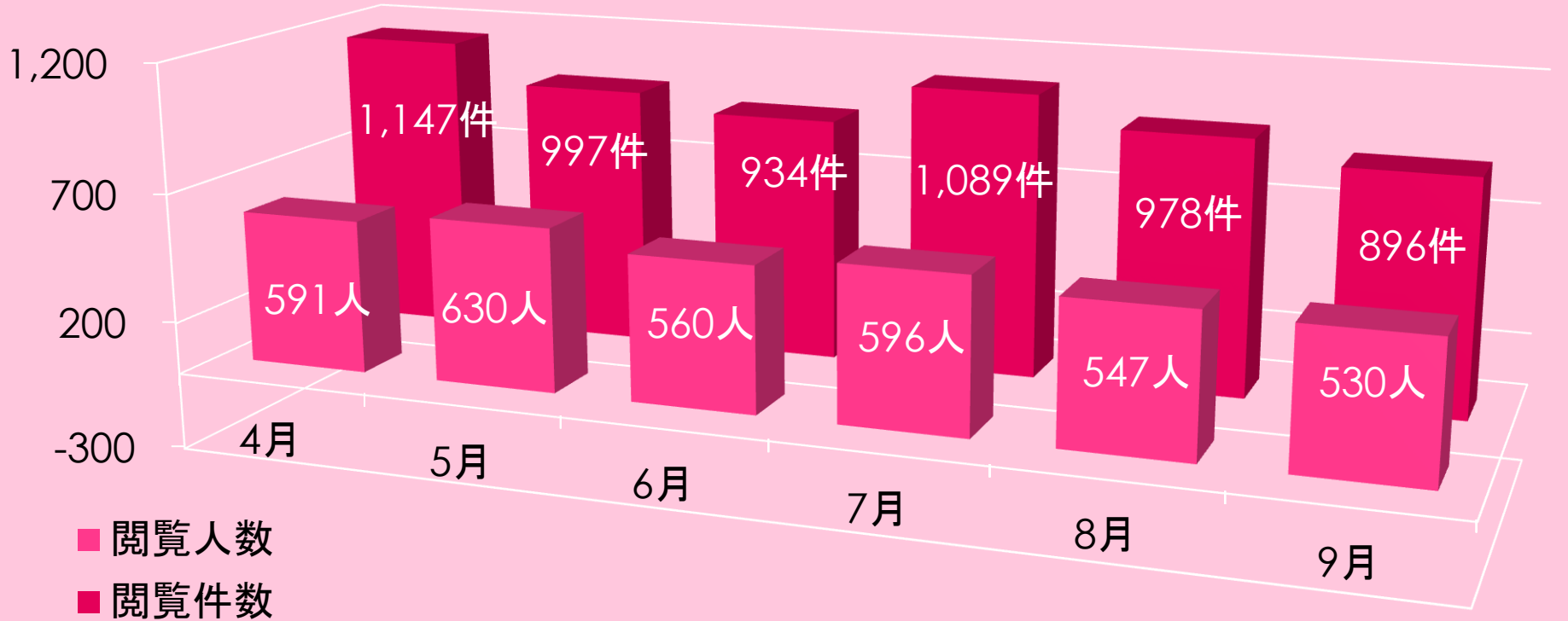


介護事業所種別 短期入所生活介護

受入対応可能な病名・処置内容

経管栄養（鼻腔）	主治医の協力により受入可（看護職員の勤務時間の関係にて要相談）
経管栄養（胃ろう）	主治医の協力により受入可（看護職員の勤務時間の関係にて要相談）
点滴	時間帯にもよるが医師の指示による一時的なものは可
IVH（中心静脈栄養）	×
インシュリン注射	自己注射出来る方及び単位確認程度は可（看護職員対応の場合は要相談）
たん吸引	9時～18時の看護職員勤務時間内は可
気管切開	×
人工呼吸器の使用	CPAP・BiPAP等の対応可（気管挿管を伴う人工呼吸器管理は不可）
膀胱留置カテーテル	カテーテルの交換時期や緊急時など医師からの指示で看護職員対応可
人工肛門	ストマ補装具の交換管理は看護職員対応可
人工透析	通院時の送迎対応可能な場合のみ可
褥瘡のケア	医師の治療方針に従い看護職員が対応可
在宅酸素	医師の指示に従い酸素濃縮器や酸素ボンベ等の業者協力があれば受入可
感染症（肝炎・MRSA等）	比較的感染リスクの低いものは要相談
終末期の受入体制（看取り）	主治医協力のもとご家族全員の意思統一が前提で受入可（個室・静養室対応）
認知症の受入体制（重度）	専門医の受診を行っていることが望ましく、周辺症状の程度によって要相談

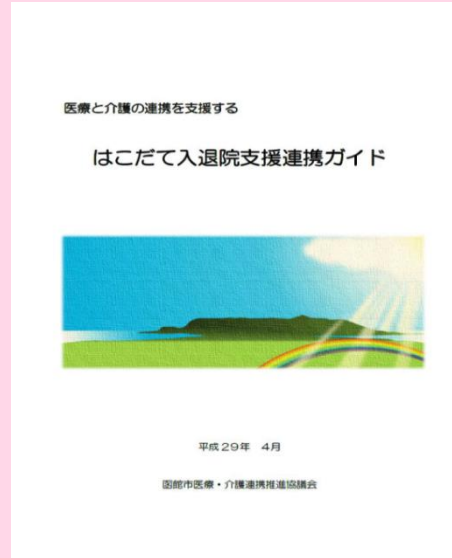
# ホームページアクセス状況



## 2 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

### 入退院支援，急変時対応のルール作りなど

#### 連携ルール作業部会（退院支援分科会）



#### 3 退院支援フローチャート

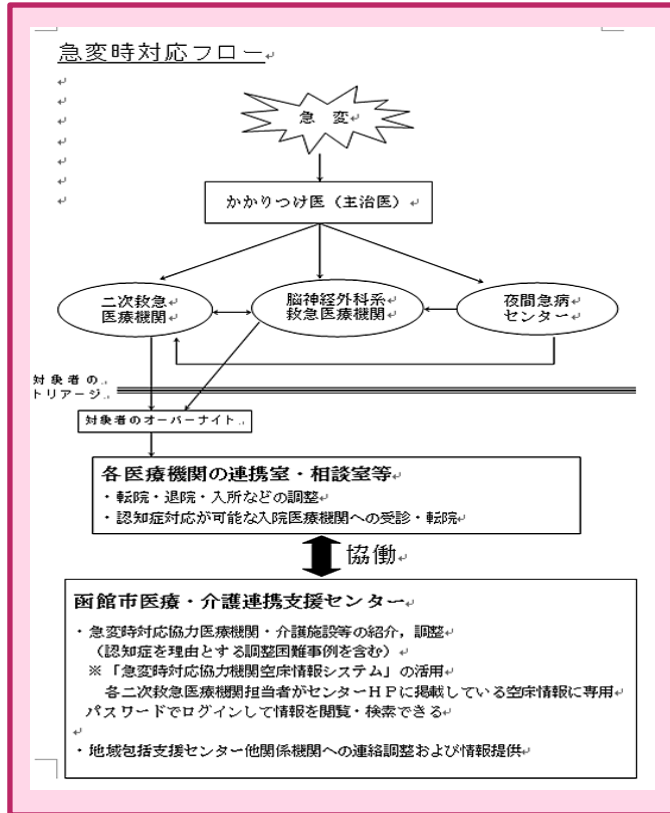
退院支援は、医師から退院の指示があったときからではなく、入院時あるいは外来で入院が必要となったときから、退院に向けた支援が必要となります。  
下記のフローチャートを参考にしてください。

【退院支援フローチャート】  
各項目の詳細については、6ページからの「4 退院支援における連携のあり方」をご覧ください。  
○…各項目で対応する職種。  
◎…各項目で主となって対応する職種。

医療機関				元退院施設 - 看護			在宅・施設					
医師	看護師	薬剤師	理学療法士	言語聴覚士	作業療法士	社会福祉士	医師	看護師	介護士	介護福祉士	福祉士	介護支援専門員
							(1) 入 院 前					
							(2) 入 院 直 後					

- 各団体，各事業所の新規職員への指導の場面や研修会等での活用
- 多職種連携に携わる実務者が参考書的に活用
- 医療機関関係者と，在宅，施設の介護関係者の入退院支援に関する相互の働きや動きが把握でき，関係多職種の相互理解の促進に有用

# 急変時対応フロー



## 連携ルール作業部会（急変時対応分科会）

- 対象者～65歳以上，要介護認定者
- 診察により軽症及び中等症の状態であるが，何らかの理由により帰宅が困難で経過観察が必要だと判断された患者のオーバーナイト対応
- オーバーナイト後，帰宅（ショートステイ等の介護サービスの活用含む），または急変時対応協力医療機関へ転院のための対応
- 急変時対応協力機関空床情報システムの活用

# 急変時対応シートの作成，普及

急変時対応シート (Ver2 H28R) 下記に必要項目を記入の上、救急隊へお送りください！

基本連絡用紙の日、平成 年 月 日

氏名	住所	〒	番	号
姓	市	町	丁目	
名	区			
明 - 大 - 坂	年	月	日	
性別 男 - 女	年齢 (歳)	通病先	〒	番
病歴 ( )	( )	市	町	丁目
TEL ( )	( )	番	号	
主治医	緊急時	TEL ( )	( )	
連絡先	連絡先	( )	( )	

**こんな症状がみられたら、ためらわずに119番に連絡してください！**  
重大な病気やけがの可能性ががあります。

下記症状の救急要請理由 ( ) 緊急対応日 平成 年 月 日

**顔**

- 顔半分が動きにくい、あるいはしびれる
- ニックリ笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがわかりにくい、うまく話せない
- 視野がかける
- ものが突然二重に見える
- 顔色が明らかに悪い

**手足**

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

**意識の障害**

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)
- くったりしている

**けいれん**

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

**けが・やけど**

- 大量の出血を伴う外傷
- 広範囲のやけど

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

**頭**

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 突えなしで立てないくらい急にふらつく

**胸や背中**

- 突然の胸痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 胸の中央が締め付けられるような、または圧迫されるような痛みが2~3分続く
- 傷む場所が移動する

**腹**

- 突然の激しい腹痛
- 持続する激しい腹痛
- 吐血や下血がある

**吐き気**

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

**飲み込み**

- 食べ物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい
- 異なものを飲み込んで、意識がない

**事故**

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高所から転落

## 消防本部との協働

○函館市消防本部の協力のもと、高齢者が救急搬送される時に、より適切かつスムーズな搬送につなげることができるよう、急変時対応シートを作成。

# 函館市医療・介護連携『急変時対応研修会』 ～介護施設等での急変時における好取組事例の報告～



- 函館市における高齢者の急変時対応の仕組みの周知と、介護施設等における好取組事例の報告を参考に、施設内での高齢者の急変時対応がより適切かつスムーズとなる事を目的として、研修会を開催。
- 市内の施設関係者及び協力医療機関の医師等248名の参加があり、大変有意義な研修会となりました。

# 施設等における 急変時対応のポイント

## ① 予防救急

- 普段からの体調の把握ができており、異常の早期発見と重症化の予防ができる。
- 施設内での多職種の情報共有、連携ができる。
- 急変時対応マニュアルが職員へ周知徹底されており、活用できる。  
(施設内研修等)

## ② 重症化の予防

- 日中帯にかかりつけ医，嘱託医，協力医療機関への適切な報告・相談ができる。
- 医師に報告・相談後に適切な対応が取れ，職員間の情報共有ができる。
- 必要に応じて応急手当ができる。

## ③ 救急搬送時の対応

- 適切に通報し救急隊員到着までの間，患者の変化に注意して観察ができる。
- 救急隊員への情報伝達（伝達シート等）が準備され，適切に情報提供ができる。
- 適切に救急搬送時の対応ができる。（搬送ルートの確保，救急車への同乗，持参記録等の準備等）
- 救急医療機関へ適切な引き継ぎができる。（救急車への同乗，医療機関への情報提供）

## ④ 再発防止のための対策

- かかりつけ医，嘱託医，協力医療機関との連携を取りながら，患者の変化に注意して，異常の早期発見に努めることができる。

### 3 医療・介護関係者の情報共有の支援

## 医療・介護関係者間で情報を共有するための共有ツールの作成・活用促進（基本，応用ツール）

はこたて医療・介護連携サポーター  
記録日 平成 年 月 日

応用ツール④ 緩和ケア情報共有シート (MOPN)

患者氏名	_____	生年月日	_____
性別	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女		
PS	<input type="checkbox"/> 0 <input type="checkbox"/> 1 <input type="checkbox"/> 2 <input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 4		
子供手続	<input type="checkbox"/> 不明 <input type="checkbox"/> 1年以上 <input type="checkbox"/> 6か月		
	<input type="checkbox"/> 2〜3か月 <input type="checkbox"/> 1か月未満 <input type="checkbox"/> 1週間未満		
患者の症状・ 症状・治療方針・ 手帳などについて の医療への希望	<input type="checkbox"/> 具体的な内容は分かりたい <input type="checkbox"/> 大いに関心はありますが詳しく知りたくない		
	<input type="checkbox"/> 知りたくない <input type="checkbox"/> 今決まらな		
	<input type="checkbox"/> その他 _____		
医療への希望 説明、取り止め			
医療への希望 大別しただけで (気がかり不安)			
家族の症状・ 症状・治療方針・ 手帳などについて の医療への希望	<input type="checkbox"/> 具体的な内容は分かりたい <input type="checkbox"/> 大いに関心はありますが詳しく知りたくない		
	<input type="checkbox"/> 知りたくない <input type="checkbox"/> 今決まらな		
	<input type="checkbox"/> その他 _____		
家族への希望 説明、取り止め	キーパース ( _____ )		
家族への希望 大別しただけで (気がかり不安)			
病状が重化した 時の希望の優先 の場	<input type="checkbox"/> 自宅で療養したい <input type="checkbox"/> 自宅で療養 <input type="checkbox"/> 入院したい <input type="checkbox"/> 今までの病院 <input type="checkbox"/> ホスピス <input type="checkbox"/> なるべく自宅で療養して 必要があれば入院したい <input type="checkbox"/> 緩和ケア病棟		
	<input type="checkbox"/> 今決まらな <input type="checkbox"/> その他 _____		
情報提供	<input type="checkbox"/> ホスピス/緩和ケア病棟 <input type="checkbox"/> 在宅医療・ケア		
	<input type="checkbox"/> 確認 <input type="checkbox"/> 確認済		
治療継続希望	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し		
作成者 所属	_____	記入者	_____
ツール管理者 所属	_____	氏名	_____

はこたて医療・介護連携サポーター【応用ツール④】緩和ケア情報共有シート(MOPN)

### 情報共有ツール作業部会

- 医療・介護どの職種でも分りやすく、見やすく、連携しやすいことを目的に作成。
- 基本ツールと特別な医療等をより詳細に情報共有する応用ツールを作成
- 現在、正式運用に向けて試験運用中。



# はこだて医療・介護連携サマリー

## サマリー活用場面の基本イメージ

活用場面① 『病院⇔在宅』

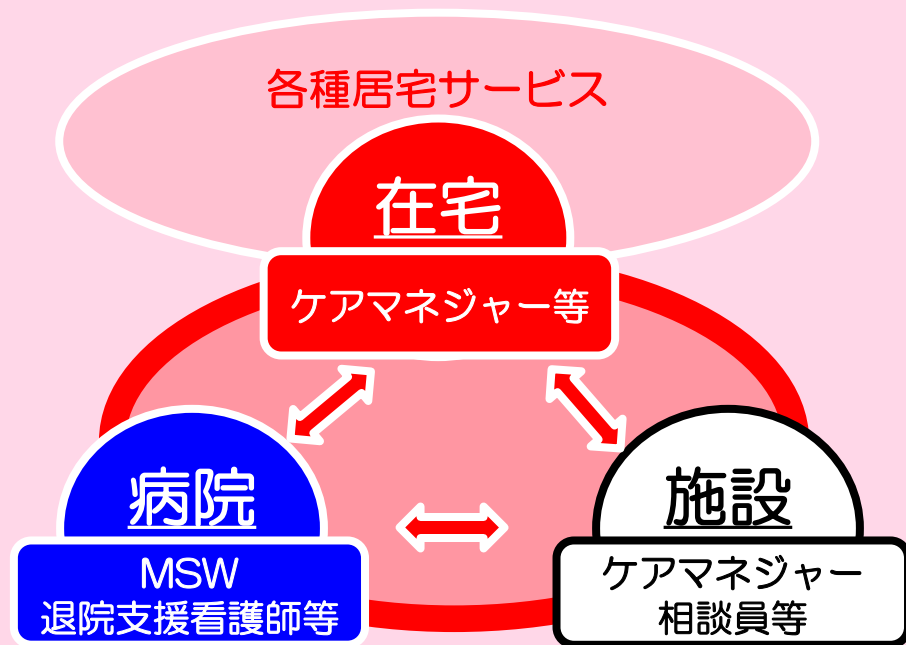
活用場面② 『病院⇔施設』

活用場面③ 『在宅⇔施設』

活用場面④ 『病院⇔病院』

活用場面⑤ 『在宅⇔在宅』

活用場面⑥ 『施設⇔施設』



# はこだて医療・介護連携サマリー

## サマリー試験運用協力機関

### 【病 院】

- 函館五稜郭病院
- 函館中央病院
- 函館市医師会病院  
(H29. 4~)
- 国立函館病院
- おおむら病院
- 西堀病院  
(H29. 6~)

### 【居 宅】

- ハーモニー
- あさひ
- 百楽園
- シンフォニー
- はくあい園
- あんじゅう
- 白ゆり
- すみれ
- 西堀
- あんしん松風

### 【包 括】

- 包括たかおか
- 包括ときとう
- 包括神山

### 【施 設】

- ショートケンゆのかわ
- ショート白ゆり美原
- 桔梗みのりの里
- シンフォニー
- 有料こん

### 【有料・サ付】

- (株)ハーモニー系列
- サ高住亀田日和
- ジャパンケアサービス
- ハートTOハート北浜

計28機関

# はこだて医療・介護連携サマリー

## サマリー試験運用協力機関

### 【居 宅】

- グランドサン亀田
- こうせいえん
- ステラ

### 【包 括】

- 包括あさひ
- 包括亀田
- 包括よろこび

### 【訪 看】

- 訪看フレンズ
- 訪看ケンゆのかわ
- 訪看オハナ

### 【施 設】

- 永楽荘
- あい亀田港
- 幸成園

### 【病 院】

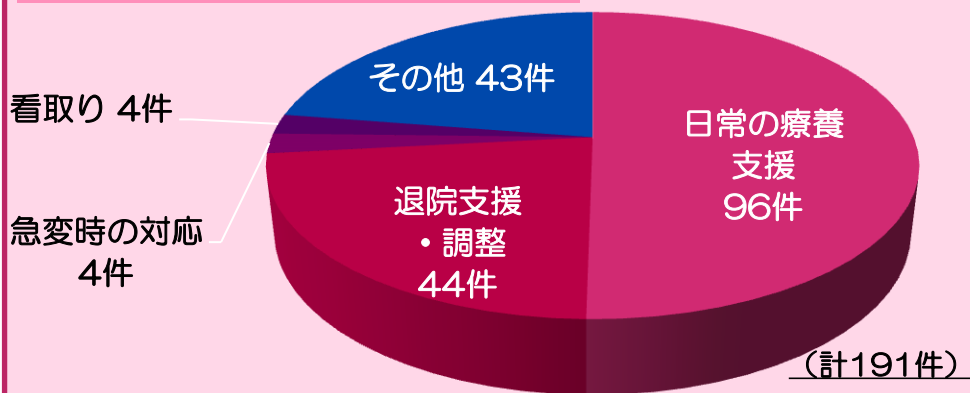
- 3ヶ所予定

+15機関

## 4 医療・介護連携に関する相談支援

医療・介護連携に関する相談窓口を設置。介護保険の知識を有する医療ソーシャルワーカー，看護師を配置し，支援対象者や地域の医療・介護関係者，地域包括支援センター等から相談を受け付け，必要に応じて情報提供や支援を行う。（電話・訪問・来所メール等に対応）

H29年 相談内容別（4～9月）



## 5 医療・介護関係者の研修

地域の医療・介護関係者の連携を実現するために、多職種でグループワーク等の研修を開催。

### 多職種連携研修作業部会



# 中小規模研修 ～相互理解～

医療側には介護の事情を，介護側には医療の事情を  
知る機会として開催

医療従事者向け研修



介護従事者向け研修



## 6 市民への普及啓発

在宅医療や介護サービス等に関する講演会を開催  
リーフレットの作成，配付等により，地域住民の在宅医療・  
介護連携の理解を促進する。

### 函館市医療・介護連携支援センターとは

このセンターでは、医療と介護の両方を必要とされる高齢者が、住み慣れている地域で安心して自分らしく生活していけるように、市民の皆さまからの在宅医療などに関する不安やお悩みのご相談をお受けしたり、医療機関や介護事業所などの情報提供を行っております。また、高齢者の医療・介護に携わる関係者の方々の連携のサポートも行っておりますので、お気軽にご相談ください。

### 在宅医療・介護連携に関する相談支援

市民の皆さまからの在宅医療などに関する不安やお悩みのご相談や、地域の医療・介護関係者および地域包括支援センターなどからの連携の調整に関するご相談に対応します。

### 医療・介護関係者の情報共有の支援

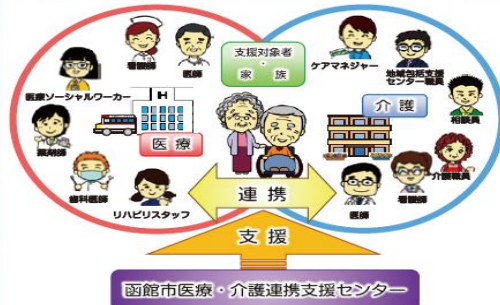
地域の医療・介護関係者の連携に必要な、標準的な情報共有ツールを整備します。

### 地域住民への普及啓発

在宅医療や介護サービスに関する講演活動や、リーフレットの作成・配布などにより、地域住民へ在宅医療の仕組みなどをお知らせします。

### 地域の医療・介護資源の把握、情報提供

地域の医療機関、介護事業所の所在地や機能などを把握し、これまでに自治体が把握している情報と合わせて、リストまたはマップを作成、公開します。



### 医療・介護関係者の研修

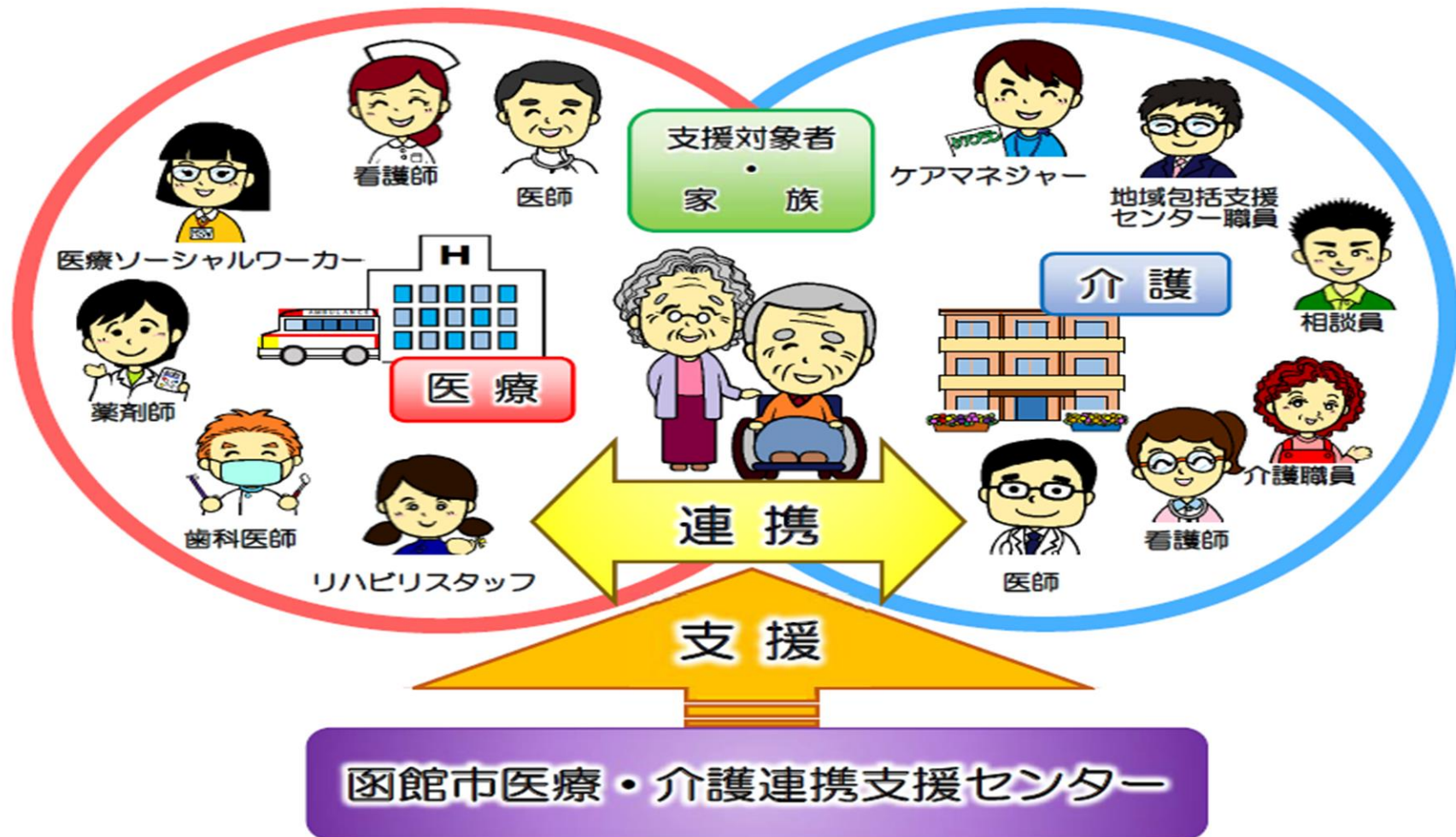
地域の医療・介護関係者の連携を推進するために、多職種連携研修の企画・実施、地域での研修情報の提供などを行います。

### 切れ目のない医療・介護の提供体制の構築

入退院支援・日常の療養支援・急変時の対応・看取りなどの様々な局面に関わり、地域の医療・介護関係者と協働し、連携の基本となる各種の仕組みや、ルール作りを行います。

## 市内の高齢者大学等へ 出前講座を開催







今よりも住みやすい  
地域になることを目指して

